



第43年度第1号
大垣青年重役会
平成20年8月25日発行
<http://www.ojb.jp>

O g a k i J u n i o r B o a r d

第42年度年間スローガン

バランスのとれた経営 根をはること 翼をもつこと

第42年度
8月最終ゆかた例会

演題 / 「OJBをふりかえって」

講師 / 第36年度入会

川合 麻美 会員

とき / 平成20年8月8日(金) ところ / 岐阜グランドホテル

出席者 / 会員40名



OJBを振り返り講演する川合会員



挨拶をする渡部会長

「拝聴して今、願います」



川瀬 由香

川合会員のお話をお聴きしながら私は大切なことに気づかされました。私の紹介者が、川合会員であったからこそ、私がこのOJBに残る事ができているという事です。お話にもありました様に「今、残っている女性会員は変り者！」正にその通りで思わず笑ってしまいました。変り者？でありOJBへの熱意たっぷりの川合会員に育てられてきた私であるから、今があると痛感しました。厳しさと優しさをバランス良く持ち合わせていらっしゃる女性だからこそ、OJB女性会員の基盤が出来上がったのだと確信しました。「入会したからには卒業まで続けていって欲しい」という意志を私達は、受け継いでいきます。あと一年間は安心していられますが、卒業されてからのOJBに女性が残っていけるのか少し不安が過ぎります。

川合会員！あと一年間で基盤をもっともっと強化して行ってください。よろしく願います。

「本当の思いやり」



望月 陽一郎

川合麻美会員のご講演は、さまざまな角度の話題から後輩へ向けての激励だったように思います。私は、私個人にご講演いただいたように思います。有り難うございました。

ご講演のなかで、川合麻美会員流の息子さんへの叱り方のお話がありました。息子さんがルールを破った時、息子さんに何故、怒られるのかを理解させてから引叩く。

なるほど・・・。思い(息子さんの成長を願って)があるから行動(引叩く)に移す。そこには思いを相手に伝えるという、ひと手間を加えることが大切なんだと。本質は何なのか？大事なことは何なのか？誰のために何をするのか？考えていたつもりが、形や体裁、個人のプライドや見栄・・・が邪魔をしてしまう。まだまだ未熟者の私が、そんな時は川合麻美会員に「間違ってますか？、プレてますか？」と確認し、アドバイスをもらっていました。川合麻美会員は、私が理解し納得できるまで、時間を惜しむことなく色々な例えを交え分かりやすく説明してくださいました。その節は、有り難うございました。これからも人生の先輩として、OJBの仲間として、一生に亘りお付き合い下さい。

第43年度への引継式



渡部会長
最後の挨拶



三輪新会長挨拶



講演終了後、渡部弘幸 42年度会長から三輪俊明 43年度会長へ会旗の受け渡しが行われました

第42年度を振り返って

「大垣青年重役会 第42年度を振り返って」

会長 渡部 弘幸

会員の皆様、そして第42年度執行部及び役員の皆様、一年間大変お世話になりました。この一年は、OJBの会長とは何なのか、自分らしさとは何なのか、常に自分に問い掛けながらの一年だったように思います。今思い返すに、第42年度のスローガン「バランスのとれた経営 - 根をはること 翼をもつこと - 」こそが、自分自身の追求であったと思います。今後も、常に自分を見つめ直し、新たな目標に向かって挑戦していきたいと強く思います。

最後に会長という大変貴重な体験をさせていただけたこと、そして良き仲間と共に一年間一緒に過ごせたことに心から感謝致します。

大垣青年重役会 第42年度 本当にほんとうにありがとう。

「第42年度を振り返って」

直前会長 藤井 重雄

まずは渡部会長はじめ執行部、役員の皆様1年間本当にご苦労様でした。

1年間を通して若い役員の才能と情熱を確認させていただき、安堵と共に今後のOJBの発展のために会の方向性がいかに大切であるかを再認識しました。

私としては常に直前会長としての「自覚」また「自重」を考え、自らの位置を確認し続けた1年間でしたが、結果として「渡部会長の支えとなれたのか？」と、甚だ申し訳なく思っております。

周年の副会長から数えて3年間、様々な経験をさせていただいた「OJB」。今後は一会員として皆さんと語り、後方より支えて参りたいと思っております。ありがとうございました。

「すべてはOJBのために」

副会長 三輪 俊明

あなた達はいつもOJBの事を考えていました。あなた達はいつもOJB会員の事を考えていました。どうしたらOJBはよくなるのか。何がOJB会員のためになるのか。時に静かに、時に熱く、時に激しく語りあっていました。強く優しいリーダーのもと各自が自分の仕事を見事にこなしていきました。

第42年度執行部・役員の活躍を胸に刻んで第43年度がんばっていききたいと思います。

すべてはOJBのために

「1年を振り返って」

監査役 秋田 卓也

42年度の役員の方々ありがとうございます。副委員長経験しかない私に監査役に任命された時は荷が重く、苦労したところもありました。しかし、今心にあるのは「楽しかった」という想いです。

やはりこれも、執行部・役員の皆様のご指導、ご協力があったからこそです。皆様には改めて感謝申し上げます。

「第42年度を振り返って」

幹事長 寺倉 毅

第42年度 渡部会長、そして執行部、役員の皆様、一年間ありがとうございました。私自身は、渡部会長のもと幹事長として、「バランスの取れた経営 - 根をはること 翼をもつこと - 」のスローガンのもと、どう具体化し実現していくのか、悩みながら始めたのですが、実際、次から次へと行事をこなしていかなばならなく様々な角度から勉強させていただきました。まだまだ未熟であると思う場面が多々あり皆様にご迷惑をかけたのではないかと思います。

本当に一年間お疲れ様でした。みなさんにひたすら感謝です。ありがとうございました。

「第42年度を振り返って」**例会幹事 望月 陽一郎**

1年間がとても早く感じました。

会員の皆さんや第42年度の役員の皆さんに支えられ、助けられ、ここまでこられたように思います。

心から感謝いたします。誠にありがとうございました。

「思えば1年過ぎました」**広報幹事 羽田 義慎人**

昨年の7月からの14ヶ月間、私に有意義の時間をあたえてくださった渡部会長ありがとうございました。執行部広報幹事というポストは私にとっては重いのでは？と考えましたが年齢・会歴等を考慮しそして同級生である渡部会長、寺倉幹事長からのお願いであれば断る理由が見つかりませんでした。そのような中スタートした訳ですが特に7・8月の準備期間の大切さが身にしみて感じさせられました。渡部丸出航にあたり不備はないか、積み忘れはないか、クルー全体の気が高まる。緊張感を保ち1つになった。「バーン」ドラの音が大きく響きいざ船出。いままで何十年も続いてきた事なのに知らなかった事が沢山あった。はずかしかった。でもおかげでいろいろ勉強できました。42年度執行部・役員の皆さんのおかげです。ありがとうございました。

「感謝しま～す!!」**会計 土屋 光晴**

先ずもって、第42年度 渡部会長をはじめ、役員の皆様、ご協力いただいた会員の皆様に感謝とお礼を申し上げます。1年間ありがとうございました。感謝致します。

この1年間は私自身、久しぶりの役員という事で、その都度、その都度、こなしていくのに精一杯で、あつという間に時間が過ぎて言った...というのが正直な感想です。

また、第42年度では、初めて執行部という大役を経験させて頂きましたが、どういうわけか自分にまつわる話は笑い話ばかりで...

「土屋顧問を囲む会」では、体調が悪いのにも関わらず出席をし、インフルエンザを撒き散らし...

「研修旅行」では、イビキで同室の方々に迷惑をかけ... 「ゆかた例会」では、ふんどし... 笑い話は本当にたくさんあるんですけど...

第42年度も無事に終わり、果たして“執行部”として、1年間しっかり、渡部会長という御輿を担ぐ事はできただろうか？ 会計としての仕事はどうだっただろうか？ 長期計画委員会・研修委員会の担当幹事として責務を果たせたか？ なかなか自分自身では評価は難しいですが、大変良い経験をさせていただけたと感謝しています。

最後になりましたが、7月例会の講師でお越しいただいた、五日市剛先生からいただいた言葉で締めたいと思います...

「想いと言葉が人生を創る」 感謝しま～す!! ありがとうございました。

「42年度を振り返って」**研修委員長 岡田 真二**

私にとってこの1年間は、研修委員長という立場から、様々な先生方とお会いさせて頂き、そして先生方のオーラを感じる事ができ、多くのことを学びとることができました。そして、何よりも同じベクトルの役員のみなさんと一緒に時間を共有できた事が、何よりも私の財産になりました。

役員の皆様「ありがとうございました」そして、「感謝いたします」。

「42年度を振り返って」**研修副委員長 永田 康仁**

42年度に初めて“研修副委員長”として役員をさせていただきましたが、大変勉強になり成長できた一年だったと思います。

42年度は岐阜経済大学の高橋教授や米田会員をお招きして研修委員会を開催しましたが、自分自身が一番研修させていただいたように思えます。

また、7月の担当例会では五日市先生を講師にお招きし、オープン例会を開催できたことがOJBの中での自信にもなりました。他の役員の方や会員の皆様に助けられて、無事42年度を終えることができたと思います。

一年間ありがとうございました。感謝します!

「第42年度を振り返って」**親睦委員長 佐竹 紀皇**

初めての委員長ということで不安を感じながらスタートしましたが、皆様にご協力いただいたおかげで、なんとか無事に1年間を終えることができました。この1年は私にとって大垣青年重役会に入会して、初めて本当の意味での研修ができ、少し成長できたように思います。1年間ありがとうございました。今後ともご指導の程、よろしく願います。

「一年を振り返って」**親睦副委員長 説田 洋機**

第42年度 渡部会長の下、親睦副委員長をさせていただきました。ありがとうございました。

執行部、役員の方々には、OJBがどのように成り立っているかを教えていただいたことを感謝しています。

佐竹委員長には勝手なことを言ったり、甘えることが多く、反省しています。

一年間役員を経験させていただいたことにより、今後のOJBの各行事にも積極的に参加していきたいと思っています。

一年間、ありがとうございました。

「42年度を振り返って」**渉外活動委員長 川瀬 由香**

「えっ！もう42年度って終わりなの？」と思わず言葉にしてしまった程、充実した時間でした。渉外活動委員会として研修旅行の企画という大役への緊張感と、それを終えての安堵感。身も心も本当に満たされた一年間でした。「ジャパネットたかた」研修を企画するにあたり、熱意を伝えれば、不可能も

可能にする事ができると気づかされ、自身のバイタリティとなりました。役員としての想いがあったからこそ、より深い長崎の思い出ができた事にも感謝しています。

42年度、まわりの方々にも恵まれ、より深く表面だけでなく、心と心が触れ合えるコミュニケーションがとれた事も振り返ると、たくさんの場が浮かんでいきます。嵐のような日もありましたが...(笑) 雨男の会長のもと、雨降って地固まる!といった今でしょうか...
素晴らしい時間をありがとうございました。

「一年を振り返って」

渉外活動副委員長 大橋 博己

42年度は、役員として2回目の年でした。40年度では、何も解らず委員長について行くだけでしたが、今年度は少し、しつたかの自分と、色々知っている委員長とのコンビで楽しく一年を過ごす事が出来、ありがとうございました。気がつけば、もう終わりの1年を振り返っての文章作成!!めっちゃ早い1年でした。42年度では色々貴重な経験・体験を勉強させて頂き、会長はじめ執行部・役員・会員の方々本当にありがとうございました。感謝します。ちなみに、渉外活動委員会は、42年度でとりあえず終わりますが、またの復活を・・・

「一年を振り返って」

広報委員長 加納 浩二

42年度では一年間、広報委員長をさせていただいた。この一年間は本当に多くの方に助けていただいたと思います。

今年度は希望者にひろばをメール配信させていただきました。そういった試みがうまく機能したのも皆さんに助けていただいたおかげだと思います。一年間、本当にありがとうございました。

「祭りが始まった時には、全てが終わっている」

広報副委員長 栗田 英優

42年度、初めて役員を経験させていただきました。その中で各行事の事前の準備の大切さを勉強させてもらいました。守るべきものは守る、変えるべきものは変える。そんな姿勢のもと準備して始まった時にはもう全てが終わってしまっている。貴重な経験をさせていただいた1年間でした。

最後に機会を与えてくださった、渡部会長ありがとうございました。

「初登山」

広報副委員長 高木 光司

最終役員会。渡部会長から富士山登山の話聞いてハッとした。種明かしをしてもらったようで.....。行く先も分からず、モヤモヤとした不安な気持ちでスタートした初めての役員。登り終われば心地よい充実感が待っていた。

コツコツと着実に任務を果たしていく加納委員長、素早い決断、素早い対応で引っ張っていく栗田副委員長の勇ましい姿も間近で見させてもらった。

縁あって一緒に登った役員皆さん、一年間ありがとうございました。

「42年度を振り返って...」

会員委員長 東山 辰美

第一回ニューメンバースクールから始まった委員会活動で進行の難しさを経験しました。今までは参加する側で行事を楽しんでいましたが、限られた時間の中でことを進めるのは余裕のない私には大変なことでした。そのような状態の中でアドバイス・御忠告くださったことを感謝いたします。ありがとうございます。

今回、役員をさせていただき、皆さんの意見を聞く機会が多く沢山の学びをいただきました。改めて自身を見返ることも出来たので今後に役立てて行きたいです。

一年間、会員委員会活動にご協力いただきありがとうございます。

「一年を振り返って」

会員副委員長 高橋 卓哉

先ず、1年間勉強させていただき本当にありがとうございました。

入会2年目で何も知らない中で、ただ皆さんに教えて頂くだけの1年間でした。

当初は会員委員会の副委員長という役を告げられ、何をやるのかもわからずに、正直「ちょっと楽な委員会かな」くらいに考え軽くお受けしてしまいました。ところが思っていた以上にやることは多く、またその仕事をこなすことだけが『研修』ではありませんでした。OJBに入る本当の意味(研修)は役員をやることでわかりました。

社内や業界団体では(立場上?)なかなか教えてくれない、自分自身の欠点について反省できました。

「配慮」と「感謝」が足りませんでした。43年度も引き続き勉強させていただきます!感謝!

最後に、42年度役員の皆様大変ありがとうございました。

「第42年度を振り返って」

長期計画委員長 林 威司

渡部会長からの命を受け前年度向山委員長の志を引き継いで1年間取り組んできました。長計主催の例会・行事に参加して下さった会員の皆さん、いかがでしたでしょうか。OJB生みの親の故説田和夫さんのお話は大変勉強になりましたね。付箋紙とマーカーをいっぱい使った合意形成型会議は面白かったですね。食事しながら酒も交えてOJBの未来を語り合うのも大いに盛り上がりましたね。

各委員会の行事の企画にあたっては「未来への提言」との関連付けが定着しましたね。ぜひ今後も継続して行ってください。

OJBは所属する会員みんなのものです。だからOJBは会員みんなで創っていかなくてはならないと思います。明るく前向きに。しかも謙虚に。感謝しながら。

個人的には自分の未熟さを痛感する一年でもありました。まだまだ勉強が足りません。OJBの仲間と一緒にこれからも学んでいきたいです。皆さんありがとうございました。

三輪会長特別インタビュー

第43年度スローガン

Think global, Act local.

～私達の産み出すものが 世界を変える～

いよいよ第43年度のスタートです。今の心境をお聞かせください。

いよいよ！という感じです。会長を引き受けると決めた時は、実感がなくまるで他人事のようにでしたが、日がたつにつれて何か大きなものが音もなく近づいてくるような気がしました。

42年のOJBの伝統・歴史を考えると想像以上のプレッシャーですね。とても緊張しています。心の中は8割不安、2割期待といった感じでしょうか。

今年度のスローガン「Think global, Act local. ～私達の産み出すものが 世界を変える～」にはどんな思いが込められていますか。

私達は企業活動を通して、暮らしを豊かにし快適な社会になるよう常に願っています。しかし、その豊かさや快適さを得ることができると、まるで企業活動全てが世界や地球や環境にとって良いことのように感じてしまいがち。しかし、現実はこのような『正の産物』だけを産み出しているのではなく同時に『負の産物』をも産み出しているのです。所信表明にもありますが、これら正・負の産物（私達の産み出したもの）が世界を変えているのです。この事実を正確に認識し正面から考えられる経営者、企業を目指すべくこれをスローガンとして掲げることになりました。

近年は企業活動においても「環境」がキーワードとなる場面が非常に多いように思います。数年もすれば、「環境」を考えていない企業は「悪い企業です」とまで言われそうです。

そんな常識になる前に、まずはCSR（企業の社会的責任）を意識して活動することから始めることが大切だと考えています。

今年度の委員会活動で注目は。

そう聞かれれば、すべてに注目！と答えます。新しい活動をする事ばかりが良いわけでは



聞き手 広報副委員長 河合孝浩
場所 大垣フォーラムホテル
日時 平成20年8月7日

なく、あるものを充実させ良い物にする。これも良い活動だと考えます。

もちろん、新しいことにも挑戦して良き活動の場となることも願っています。各委員会ともかなり活発に活動していくと言っていたので私自身注目しています。

「 と言えば、43年度の 委員長に聞けばわかる！」なんて言われる活動をしていきたい。

最後に会員に向けてメッセージをお願いします。

はじめにも言いましたが、8割不安です。心配事だらけです。

しかし、集まった精鋭達に勇気もらい第43年度を輝ける年度にすることができるよう邁進します。

会の活動に参加して自己研鑽し、会員と会員が同志になって下さい。会員の中のOJBの存在価値が高まれば、活動が活発になり、世界を変えることができるかも。



今年度の意気込みを語る三輪会長

特別会員OJB四季の会第30回例会

とき・・・7月30日(水)
 ところ・・・駅前にしき
 出席者・・・13名



おいしい食事と共に楽しく語りました。

ゆかた例会二次会

とき・・・8月8日(金)
 ところ・・・ちゃめっけランド
 出席者・・・26名



お酒を交えて楽しく語りました。

第7回全国高校生ポスターコンクール

とき・・・8月18日(月)
 ところ・・・大垣市サイトピアセンター



8月18日午後2時から、大垣市サイトピアセンター文化会館4階において「第7回全国高校生ポスターコンクール」のオープニングセレモニーが行われました。多数のご来賓ならびに関係者が出席され、寺倉幹事長の司会のもと盛大にとりおこなわれました。

INFORMATION

委員会活動

第1回飲んで語る会(親睦委員会)
 とき・・・9月9日(火)21:30~
 ところ・・・ちゃめっけランド
 大垣市高砂町2-31
 TEL:0584-74-9301
 会費・・・3,500円

合同委員会
 とき・・・9月19日(金)19:00~
 ところ・・・玉子屋別館 玉辰楼
 大垣市新田町2-95
 TEL:0584-89-3223
 会費・・・5,000円

合同委員会二次会
 とき・・・9月19日(金)21:30~
 ところ・・・ミニボパイ
 大垣市高砂町1-15 中山ビル
 TEL:0584-78-0426
 会費・・・3,000円

当日飲酒をされる方は、お車でのご来場はくれぐれもお控え下さい。

8月ドネーション

三輪 俊明 会員
 本日より四日間、韓国よりホームステイで、中学生が二名来ます。

羽田 義慎人 会員
 一年間、ありがとうございました。

土屋 光晴 会員
 一年間、ありがとうございました。

望月 陽一郎 会員
 一年間、ありがとうございました。

寺倉 毅 会員
 一年間、ありがとうございました。

秋田 卓也 会員
 一年間、ありがとうございました。

渡部 弘幸 会員
 一年間、本当にありがとうございました。

第43年度会費納入のお願い

会費納入額(上期)・・・35,000円
 納入期限・・・平成20年9月30日(火)